は　じ　め　に

「感じていますか　子どもたちの『心の元気！』」

平成１４年１１月，本県教育委員会は「豊かな心を育むひろしま宣言」を発信し，県民ぐるみで子どもたちの「心の元気！」の育成に取り組むことを呼びかけました。昨今，青少年犯罪の凶悪化，低年齢化が進み，生徒指導上の諸課題は深刻な状況にあります。学校に対しても，児童生徒の規範意識の確立など，豊かな心を育てる教育の充実について期待が高まっています。

県教育委員会が，平成１４・１５年度道徳教育実践研究指定事業で指定した小・中学校３０校では，道徳教育を学校体制の中核として位置付け，教職員が一体となって取り組むことによって，大きな成果を上げています。例えば，指定校では暴力行為等の発生件数が前年度に比べ半減していること，また，これらの指定校で実施したアンケート調査で，児童生徒の約８割が「道徳の時間」がためになると感じています。こうしたことは，子どもたちが「生き方」について学ぶことを前向きに求めていることと受けとめています。

本実践事例集は，広島県道徳教育実践研究指定校３０校の授業実践の中から特に生徒指導充実のために効果があると思われたものを整理したものです。道徳教育によるアプローチが積極的な生徒指導としての機能を果たし，問題行動等の未然防止にもつながることを２年間の実践が示しています。

本実践事例集が，夢や希望をもち自らの生き方を省みながら成長していく子どもたちを支援する時間としての道徳の授業に指針を与えてくれるものと確信しています。

終わりに，本研究に取り組んでいただいた，広島県道徳教育実践研究指定校の皆様に対し，心から感謝の意を表します。

平成１６年２月

広島県教育委員会教育長

常　盤　　豊